

# そだて、つなぎ、よびこむ

## —若者のための年代別3事業—

若者 | わかもの

年若い人。わこうど。 (広辞苑より)

ただし、本事業提案においては、  
おおむね30歳までの者をいう。

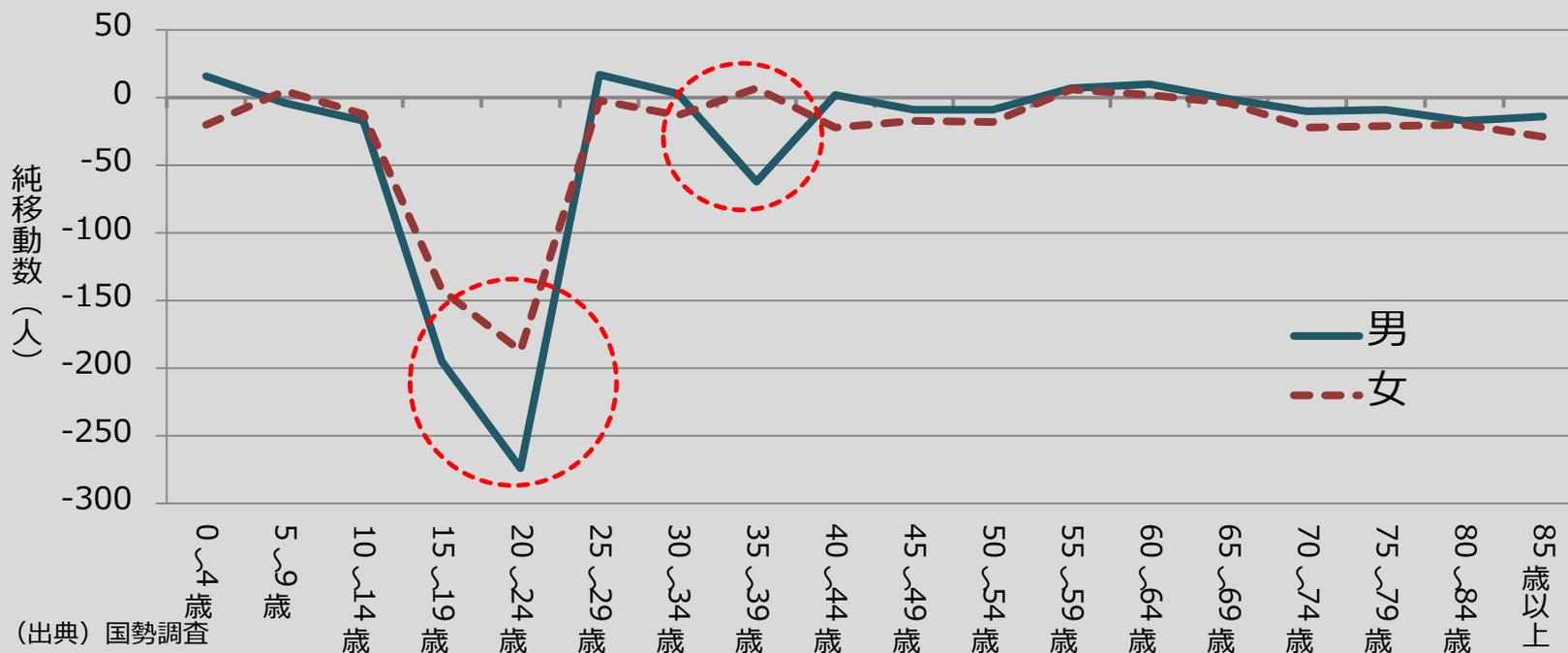
次世代創生研究会 1班

税務課	仁尾	真之
税務課	遠藤	香里
保険医療課	高瀬	和紗
次世代創生課	宮田	和平

# テーマ設定 —着眼点—

## ● 市内から若者が減っていくことへの危機感…

西脇市 年齢階級別人口移動（2005年→2010年）



★今いる若者の地域愛を育みたい！

★若者をよびこみたい！よびもどしたい！

# テーマ設定 —若者の現状と課題—

- ひとくちに若者といっても、年代別に課題が…



- 10代  
地域愛の醸成  
教育環境の充実  
親の子育て環境の充実

- 20代  
転出の抑制、転入の増加  
しごとの創出と情報発信

- 30代  
出会うの場の創出  
Uターンのラストチャンス



★若者にとって魅力あるコンテンツを、年代別に検討することが必要

# テーマ設定 —事業提案—

★ 10代 「そだてる」

**まちの寺子屋事業**



★ 20代 「つなぐ」

**しごと・若者マッチング事業**



★ 30代 「よびこむ」

**30歳の同窓会開催事業**



事業提案① 10代 「そだてる」

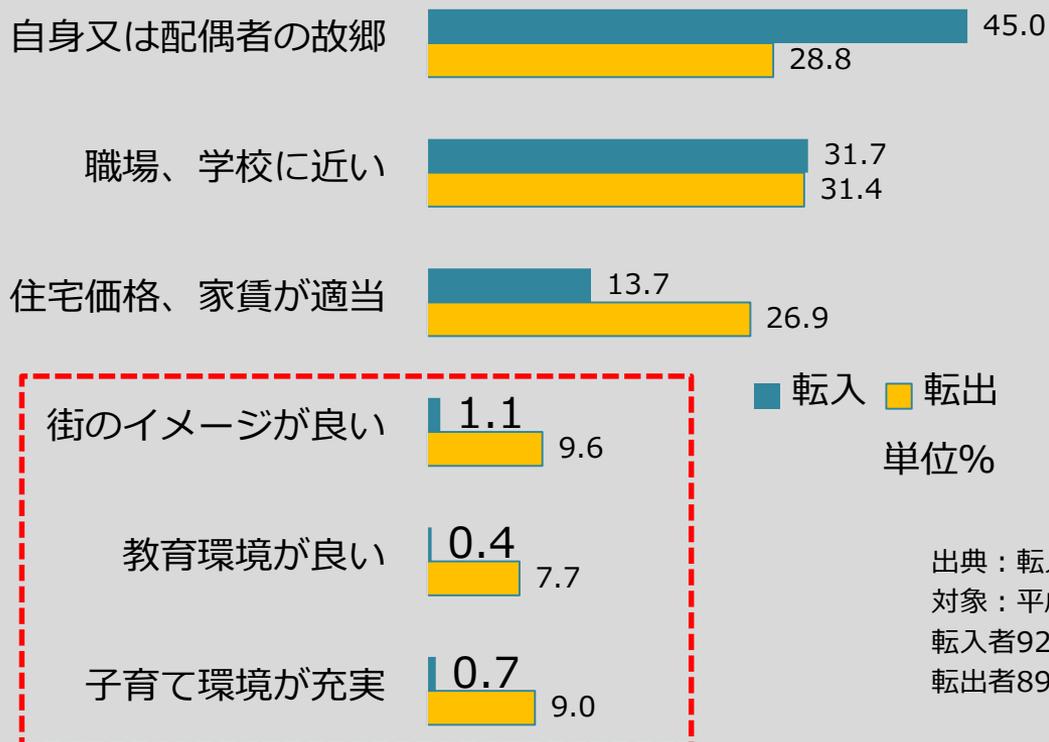
# まちの寺子屋事業



# 教育と子育て —現状と課題—

## ① 「教育・子育て」に対する良好なイメージの欠如 「教育・子育て環境の良さ」を理由に西脇市へ転入する人はほとんどいない

現在の居住地（西脇市又は転出地）を選んだ理由



出典：転入・転出アンケート調査（平成27年7月実施）  
対象：平成25年1月～平成26年12月の転出入者  
転入者927名のうち267名から回答（回答率28.8%）  
転出者895名のうち154名から回答（回答率17.2%）

# 教育と子育て —現状と課題—

## ②母親のストレス

働く母親の33%が

「子供の宿題・勉強の付き添い」  
にストレスを感じている



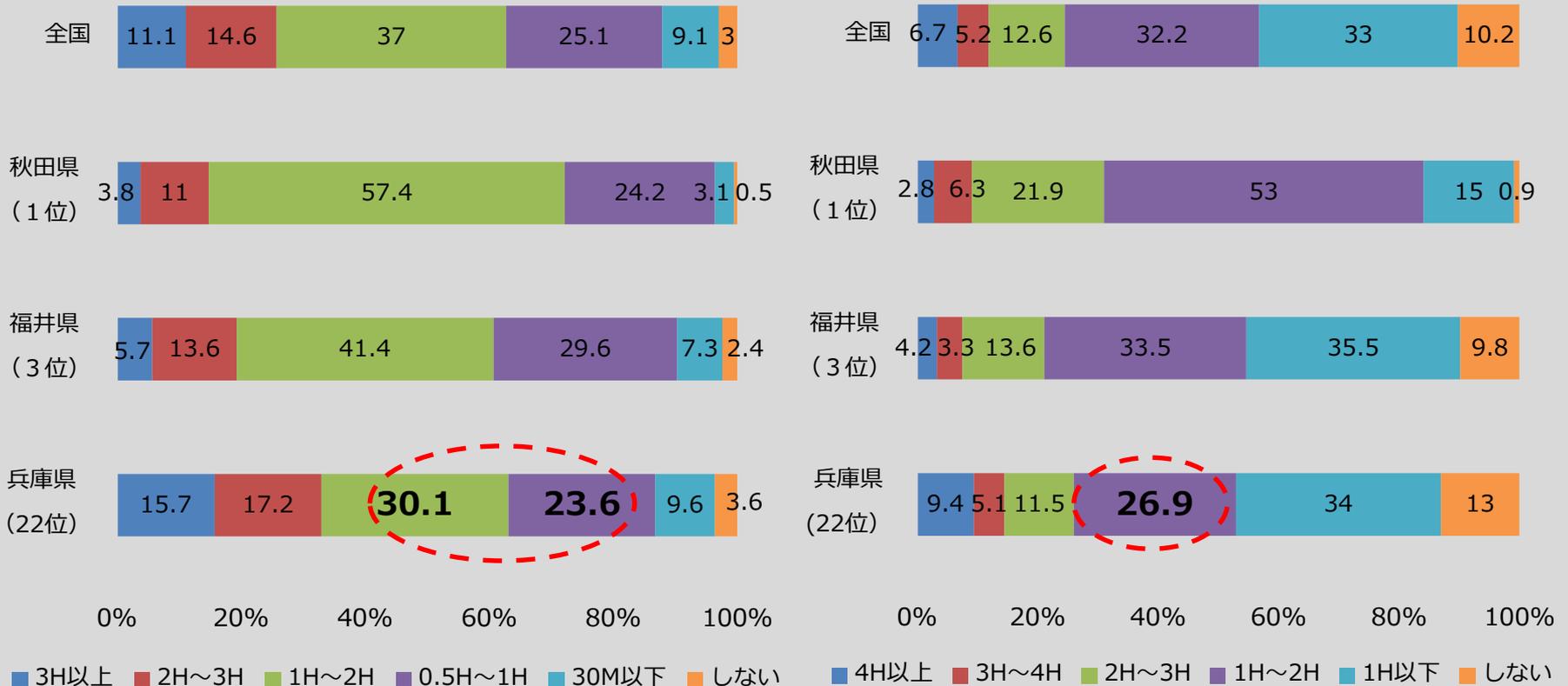
出典：リクルートワークス研究所「働くマザーのストレス調査報告書」  
調査期間：平成27年7月23～28日  
調査方法：インターネットモニター調査  
調査対象：仕事を持つ母親計1267人

# 教育と子育て —現状と課題—

## ③最低限の家庭学習（1～2時間）ができている層が少ない

小学6年生の普段（平日）の勉強時間（塾含む）

小学6年生の休日の勉強時間（塾含む）



出典：全国学力・学習状況調査（平成27年度）

# 教育と子育て

## —現状と課題まとめ—

- ①「教育」に対する良好なイメージの欠如
- ②母親のストレスとしての「勉強の付き添い」
- ③最低限の家庭学習ができている層が少ない



- ★子どもが自主的に勉強できる場所を提供し、学力向上と教育環境のイメージアップを図る
- ★親の子育てストレスの軽減を図る

# まちの寺子屋事業

## ● 事業概要

子どもたちが地域やスタッフの見守りのもとで勉強ができる「まちの寺子屋」を学校外に整備

## ● 事業目的

① 子供が自主的に集い学習する環境づくり  
(主体性・学力の向上)



② 子育てストレスの軽減、まちのイメージアップ  
(「子どもが宿題をすませて帰ってくるまち」という魅力を形成)

③ 学校外での子ども同士・地域社会との交流  
(にしわき愛の醸成)

# 事業提案① まちの寺子屋事業

## ●実施期間

夏休み期間中に試験的に実施

週2回程度、午前9時～午後5時まで

(子どもたちのニーズと、寺子屋スタッフの受入状況に応じて日時、回数を決定)

## ●対象者

市内在住の小・中学校の児童・生徒

※利用者は市担当課で事前に登録を行う

# 事業提案① まちの寺子屋事業

- 寺子屋スタッフ

市内の教員OB・OG、大学生を想定

- 設置場所

市内の学校付近の空き物件、公民館など  
(例) 旧市立図書館

- 実施内容例

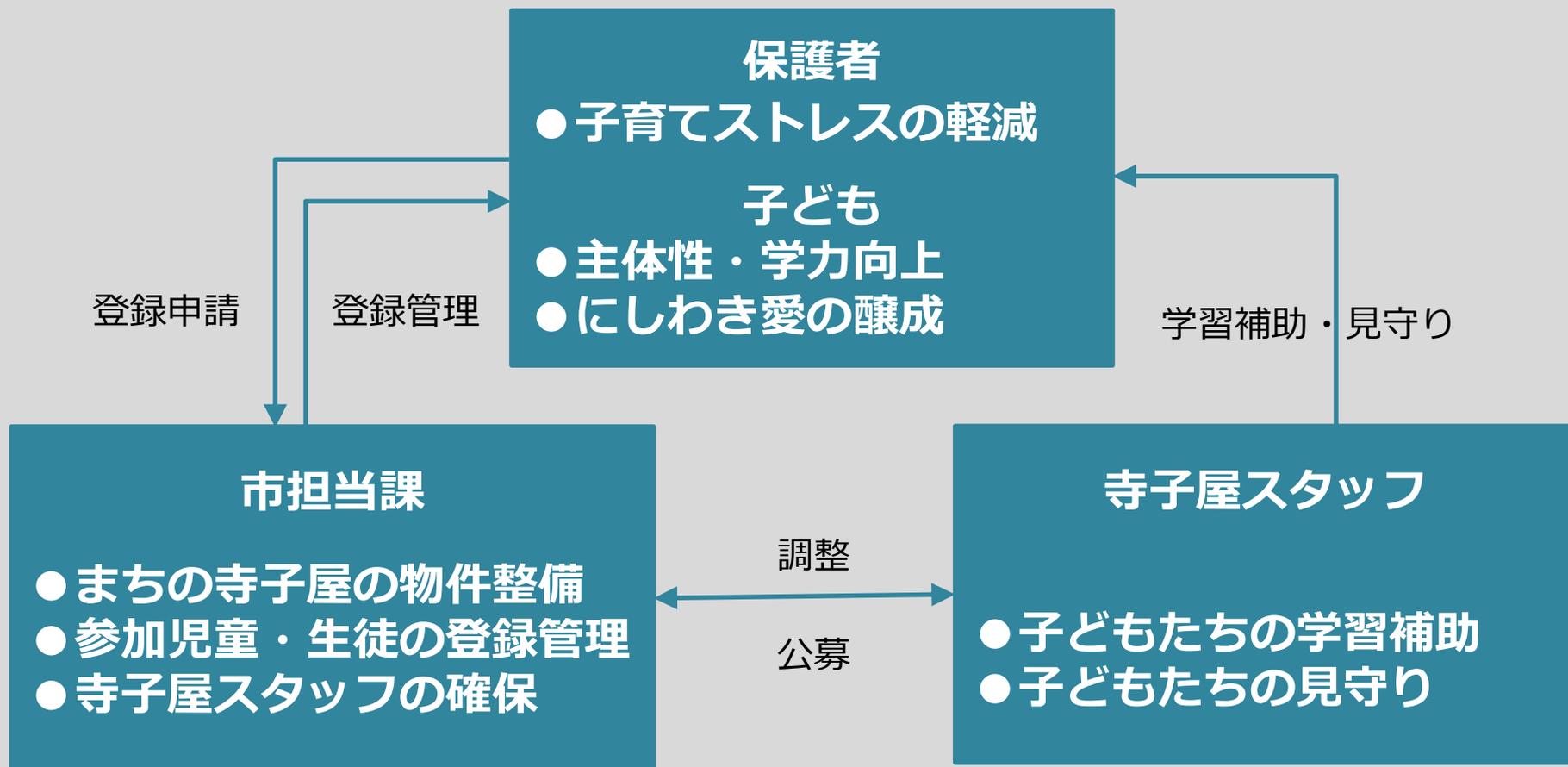
夏期休暇中の宿題・課題の補助

その他、地域の方々の有志による講座を定期開催



# 事業提案① まちの寺子屋事業

## ● 事業主体イメージ



# 事業提案① まちの寺子屋事業

● 予算 280千円 (初年度のみ)

寺子屋スタッフ報償費 280千円

夏休み中に計10回、市内2か所、スタッフ2人体制で実施を想定  
報償費：1時間あたり1,000円、1日7時間で7,000円を想定



● 事業スケジュール (平成28年度から試験実施)



4月	寺子屋会場の確保   既存の施設で活用できる場所を選定
5月	寺子屋スタッフの募集   市広報、HP等でPR、大学へ依頼
7・8月	まちの寺子屋 試験実施 (夏休み中10回程度)
9月	利用者、保護者アンケート実施
10月～	アンケート結果等をもとに、次年度以降の実施形態を検討

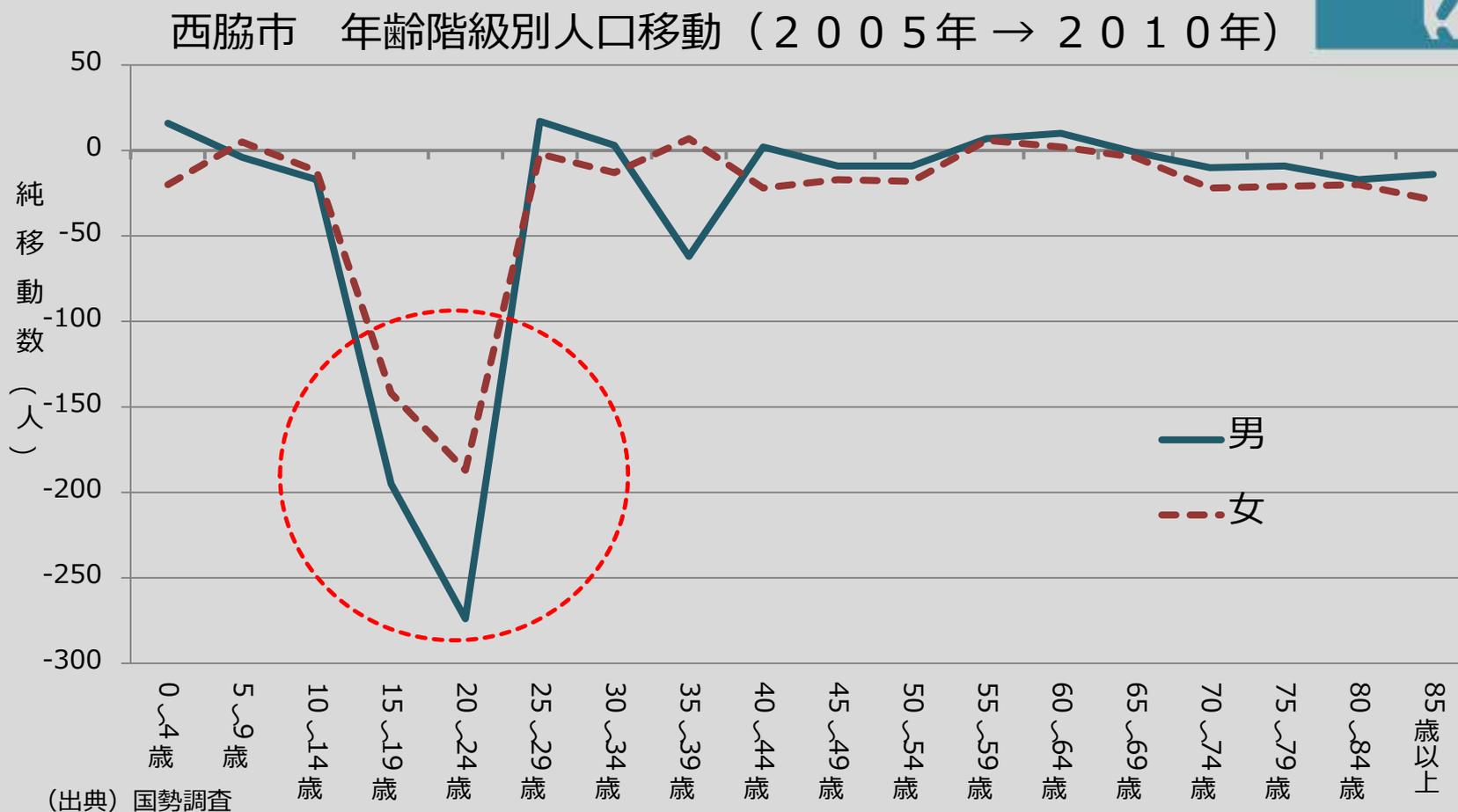
事業提案② 20代 「つなぐ」

# しごと・若者マッチング事業



# 西脇市の現状 —人口移動—

## ①20代の転出が最も多い



# 西脇市の現状 —地域産業—

## ②事業所数、従業者数ともに減少



市内事業所数、従業者数の推移（2001年→2012年）

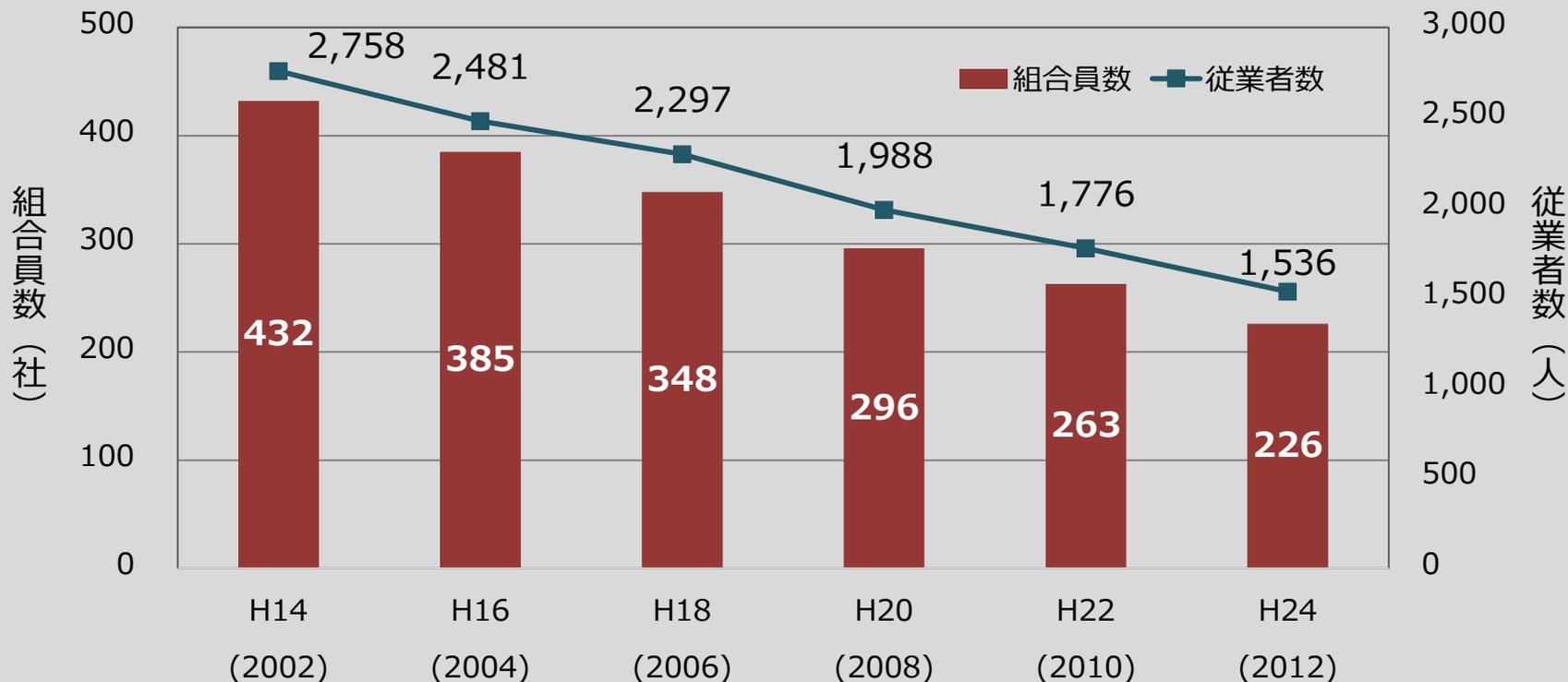


# 西脇市の現状 —地場産業—

## ③播州織業界においても同様に減少傾向



播州織業界の組合員数（社数）・従業者数の推移

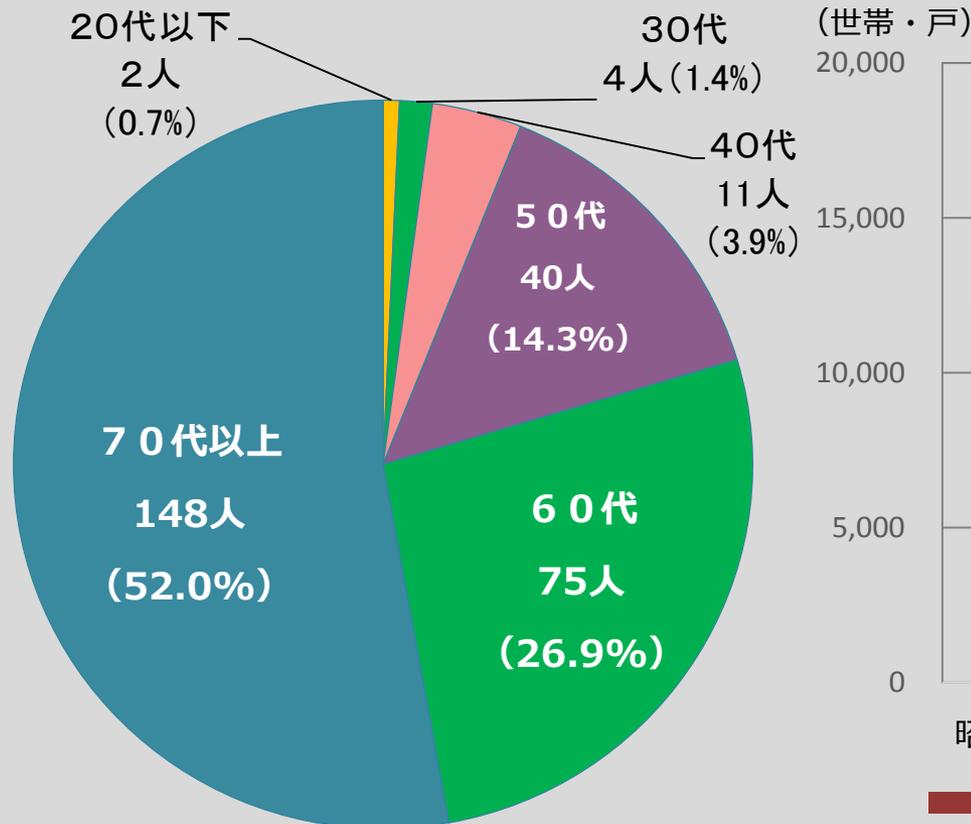


# 西脇市の現状 —農業—

## ④ 農家の高齢化と戸数・耕地面積の減少

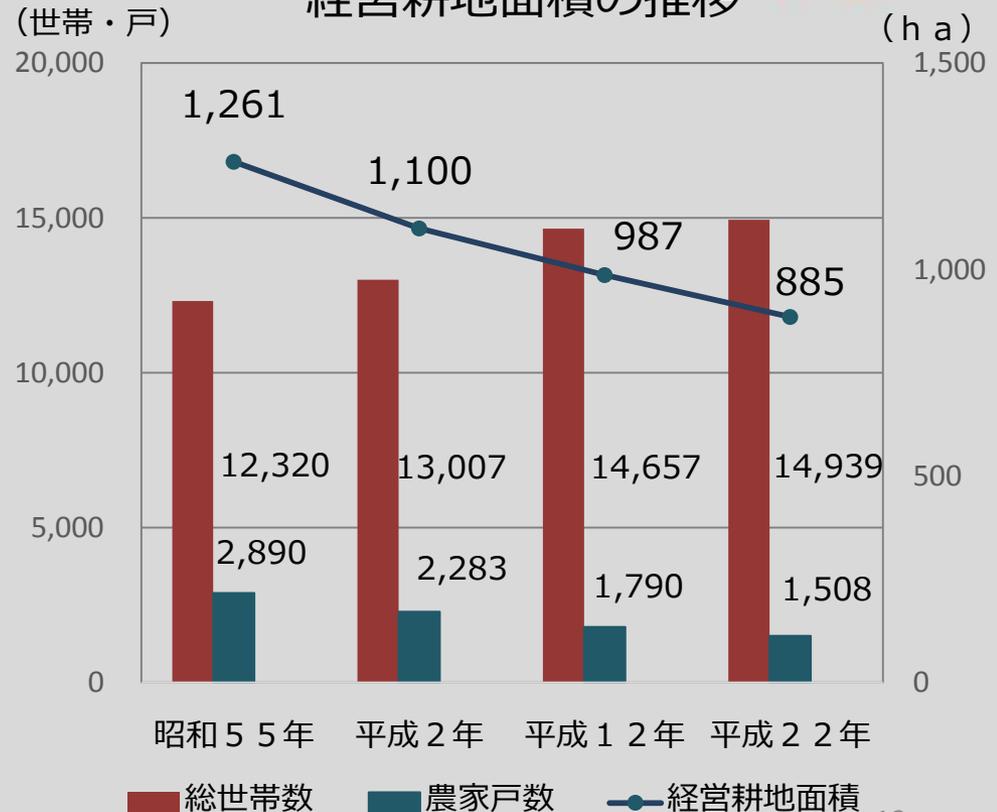


市内基幹的農業従事者数の年齢別構成



(出典) 国勢調査、農林水産省 (世界農林業センサス)

市内農家戸数・  
経営耕地面積の推移



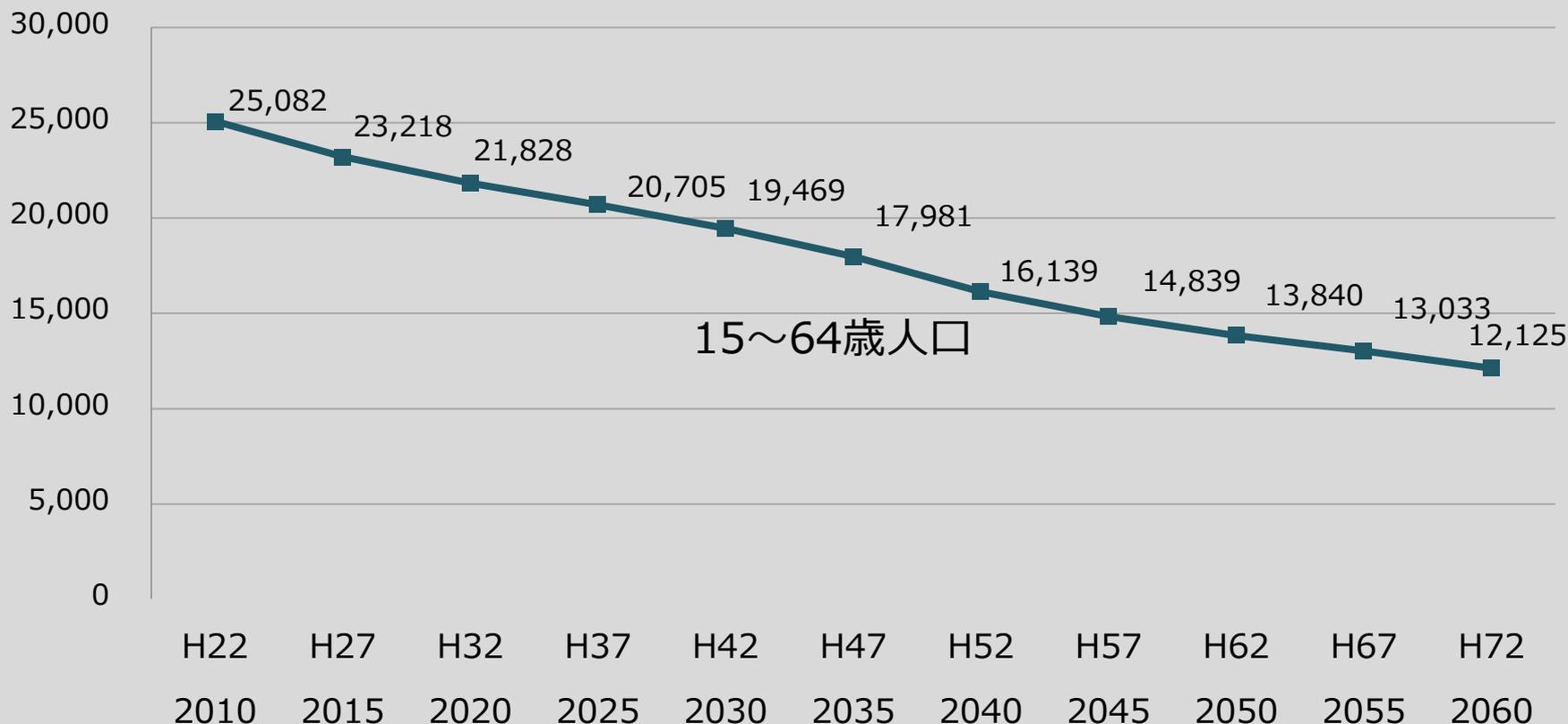
(出典) 農林水産省 (世界農林業センサス)

# 西脇市の現状 一人人口の推移

## ⑤生産年齢人口（15～64歳）が今後急激に減少



西脇市の人口推計（2010年→2060年）



# 西脇市の現状 —まとめ—

- ①20代の転出超過
- ②事業所数、従業者数の減少
- ③播州織従事者の減少
- ④農業従事者の減少と高齢化
- ⑤生産年齢人口の急激な減少



**担い手不足**が今後ますます深刻化する

## 事業提案② しごと・若者マッチング事業

### ● 目的

- ①西脇市のしごとの魅力発信（西脇市のしごとの認知度UP）
- ②次期担い手の募集、育成（地域産業の活性化、移住促進）

### ● 事業内容

- ①担い手を育てる意欲のある市内事業所を募集
- ②西脇市のしごとの魅力を発信し、担い手候補生を全国募集
- ③担い手候補生と市内事業者をマッチング
- ④担い手候補生の事業所への定着と、市内定住をサポート

## 事業提案② しごと・若者マッチング事業

### ①担い手を育てる意欲のある市内事業所を募集

#### ●対象事業所

次期担い手として若者を受入れ、育成する意欲のある事業所

〈想定される事業所〉

- ・ 地場産業（播州織、播州毛鉤など）
- ・ 農業（山田錦、金ゴマなど）
- ・ 畜産業（黒田庄和牛など）

## 事業提案② しごと・若者マッチング事業

### ②西脇市のしごとの魅力を発信し、担い手候補生を全国から募集

#### ●担い手候補生の応募要件

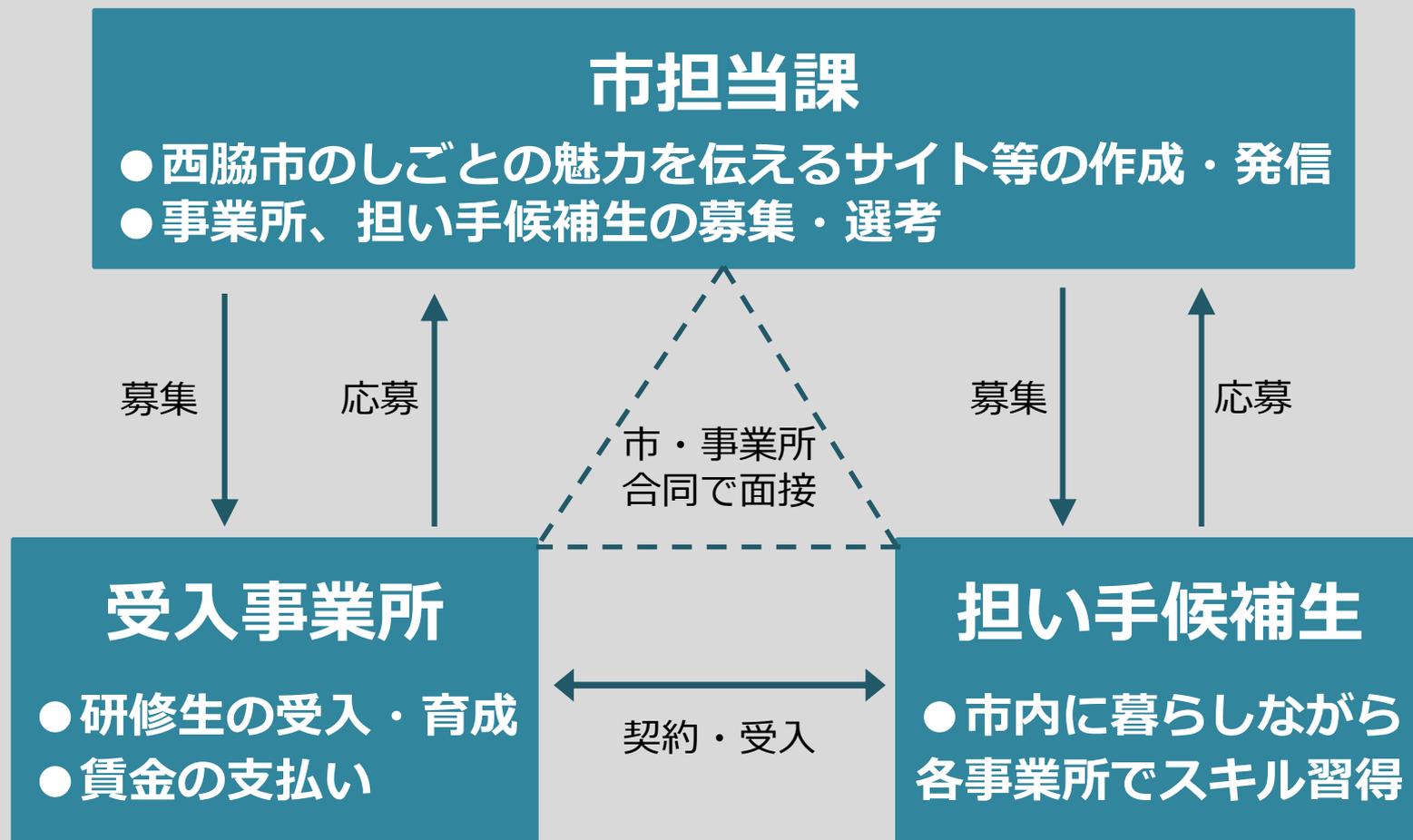
- ①西脇市の産業に興味があり、次期担い手として働く意欲のある者
- ②採用後、西脇市に定住する意思のある西脇市外在住の者
- ③応募時点で30歳未満の者
- ④その他、受入事業所が求める条件に合致する者

#### ●研修期間

1年間（原則として有給、半年ごとに継続意思を確認）

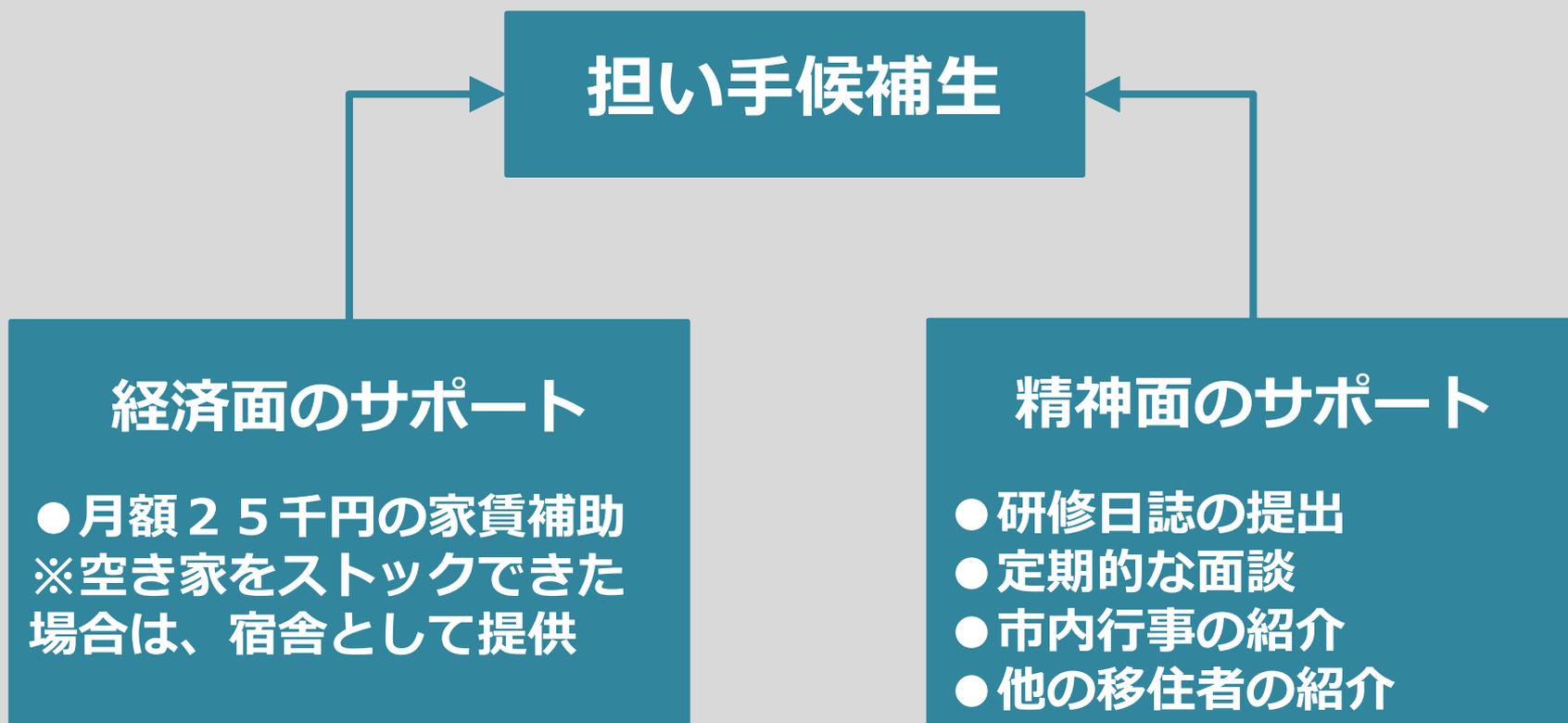
# 事業提案② しごと・若者マッチング事業

## ③担い手候補生と市内事業者をマッチング



## 事業提案② しごと・若者マッチング事業

### ④担い手候補生の事業所への定着と、市内定住をサポート



★経済面・精神面のサポートにより、定着を図る

## 事業提案② しごと・若者マッチング事業

● 予算 1,500 千円

① 研修生への家賃助成 1,500 千円

月額 25 千円 × 12 ヶ月 × 5 人

担い手候補生 5 人の採用を想定

※ 移住促進サイト作成費が別途必要  
(シティプロモーション推進事業に計上)



# 事業提案② しごと・若者マッチング事業

## ●事業スケジュール



平成28年 5月 事業所の募集 | 市広報、HP等で募集

---

7月 事業所の決定、移住促進サイトの作成開始

---

11月 担い手候補生の募集

---

平成29年 1月 担い手候補生との面接、担い手候補生の決定

---

4月 研修開始 | 候補生と面談、事業所との調整を随時実施

---

10月 継続意思確認

---

平成30年 3月 研修終了 | 実施結果の検証、今後の定住意思を確認

---

事業提案③ 30代 「よびこむ」

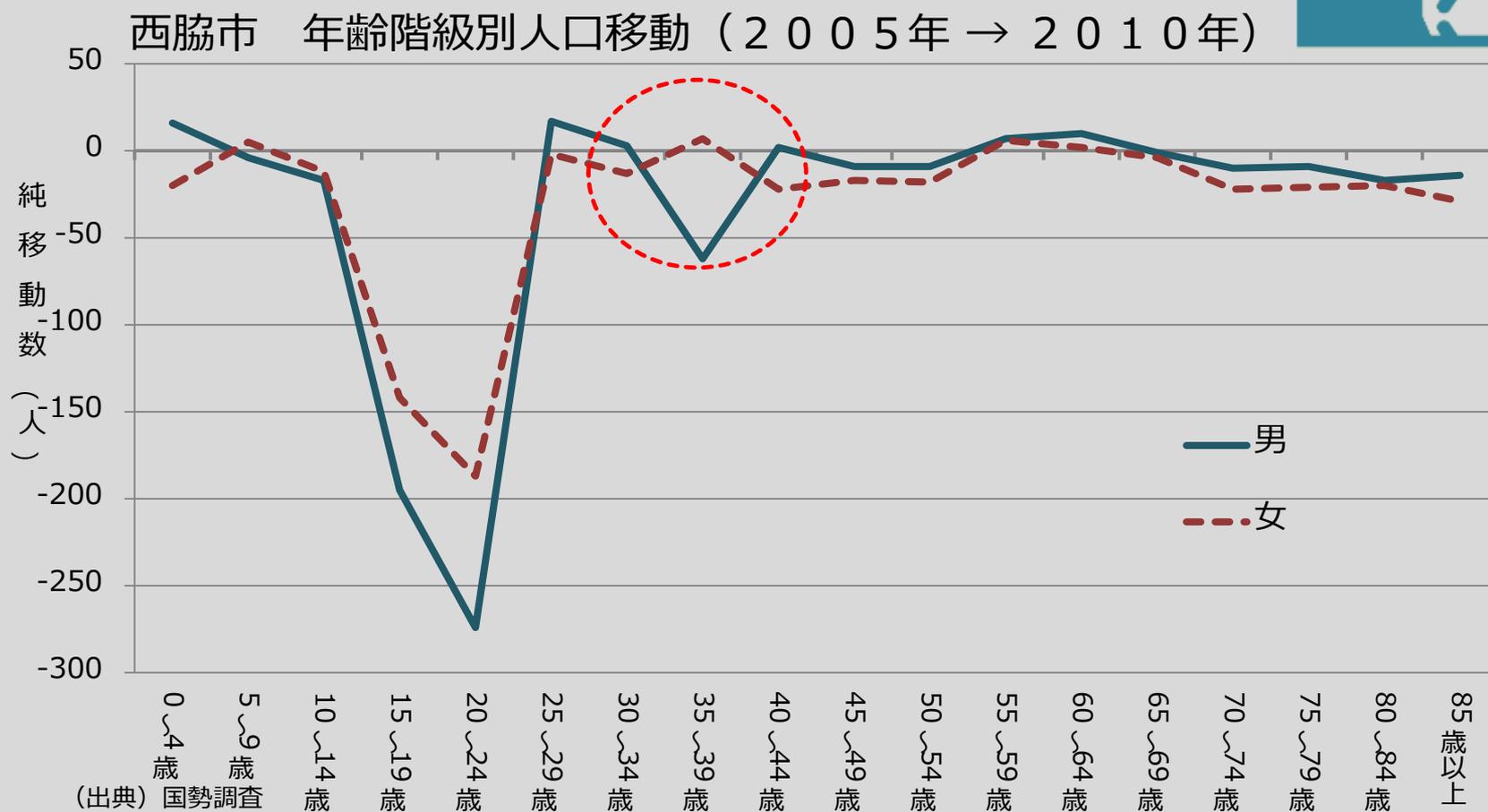
# 30歳の同窓会開催事業



# 30歳(30代)の特徴

## —現状と課題—

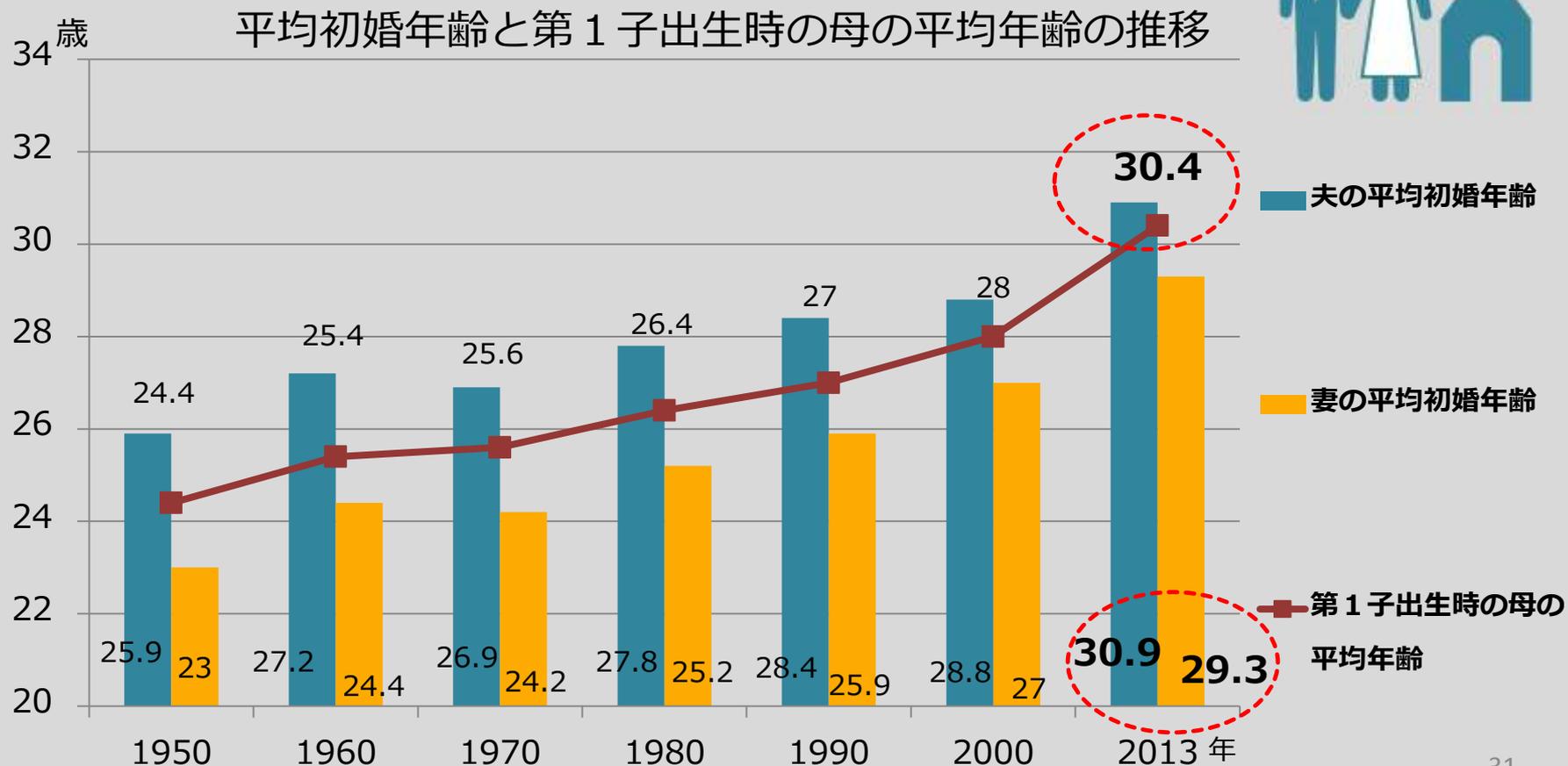
### ① 転出者が20代に次いで多い



# 30歳(30代)の特徴

## —現状と課題—

### ②結婚・出産を迎える



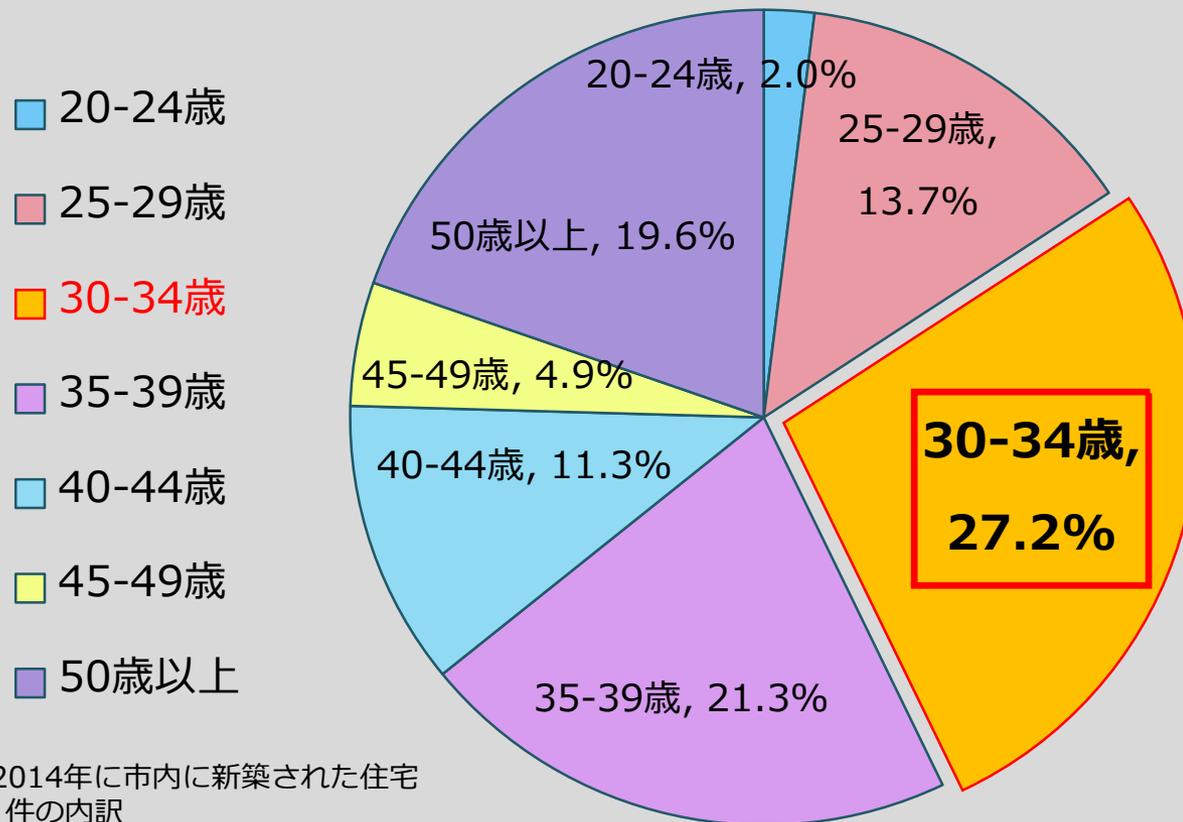
# 30歳(30代)の特徴

## —現状と課題—

### ③住宅購入が最も多い



西脇市における住宅取得時年齢（2010～2014年）



2010～2014年に市内に新築された住宅  
計611件の内訳

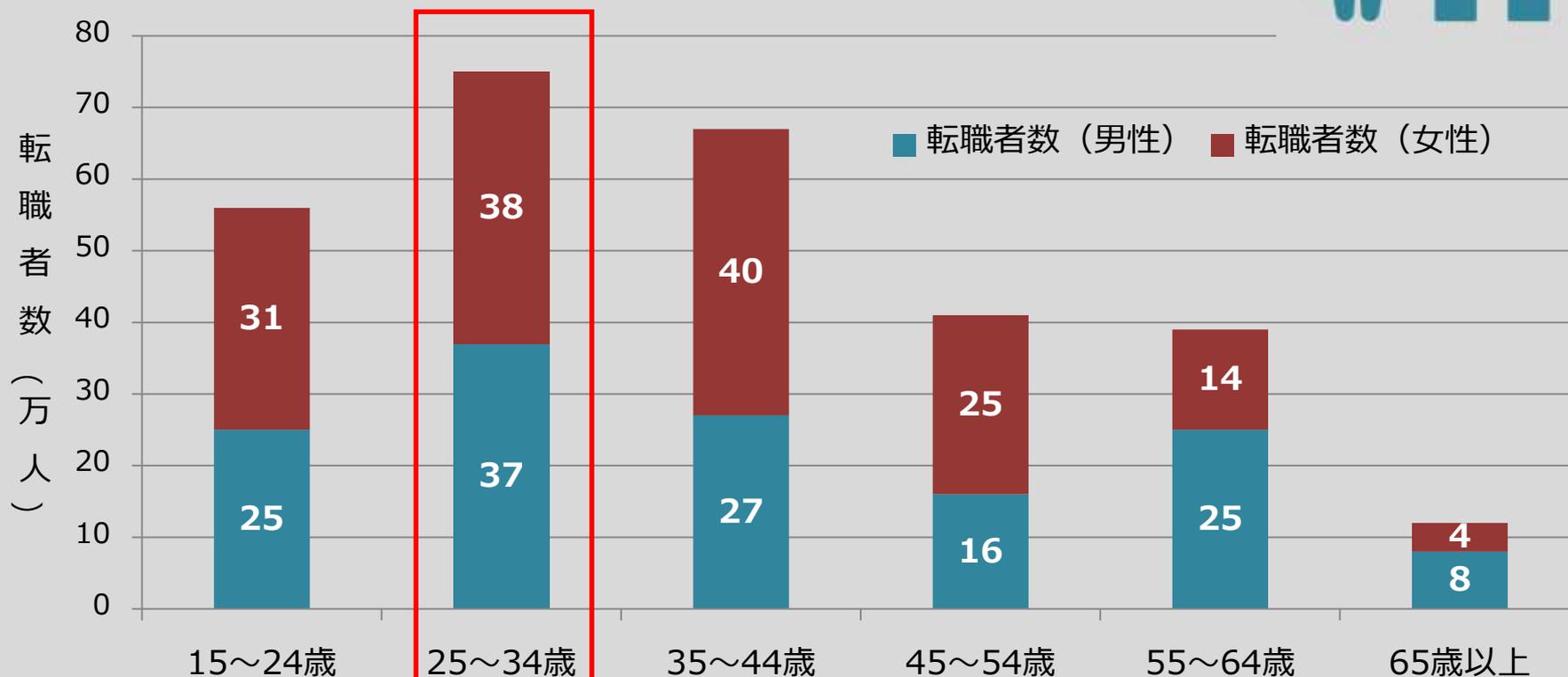
# 30歳(30代)の特徴

## —現状と課題—

### ④ 転職する人が最も多い



年齢階級別転職者数（2014年度）



出典：労働力調査（総務省統計局）

# 30歳(30代)の特徴

—現状と課題まとめ—

- ① 転出者が20代に次いで多い
- ② 結婚・出産を迎える
- ③ 住宅購入が最も多い
- ④ 転職する人が最も多い



30歳を迎える時期に西脇市に集い、  
出会いや情報を得る機会があれば、  
Uターンを促進できる！

# 事業提案③ 30歳と同窓会開催事業

## ● 目的

- ① Uターンの促進（にしわき愛の再醸成）
- ② ひとの交流の促進（出会いの場の提供）
- ③ 転職、住宅購入の促進（市内の就職・不動産情報の提供）



## ● 対象

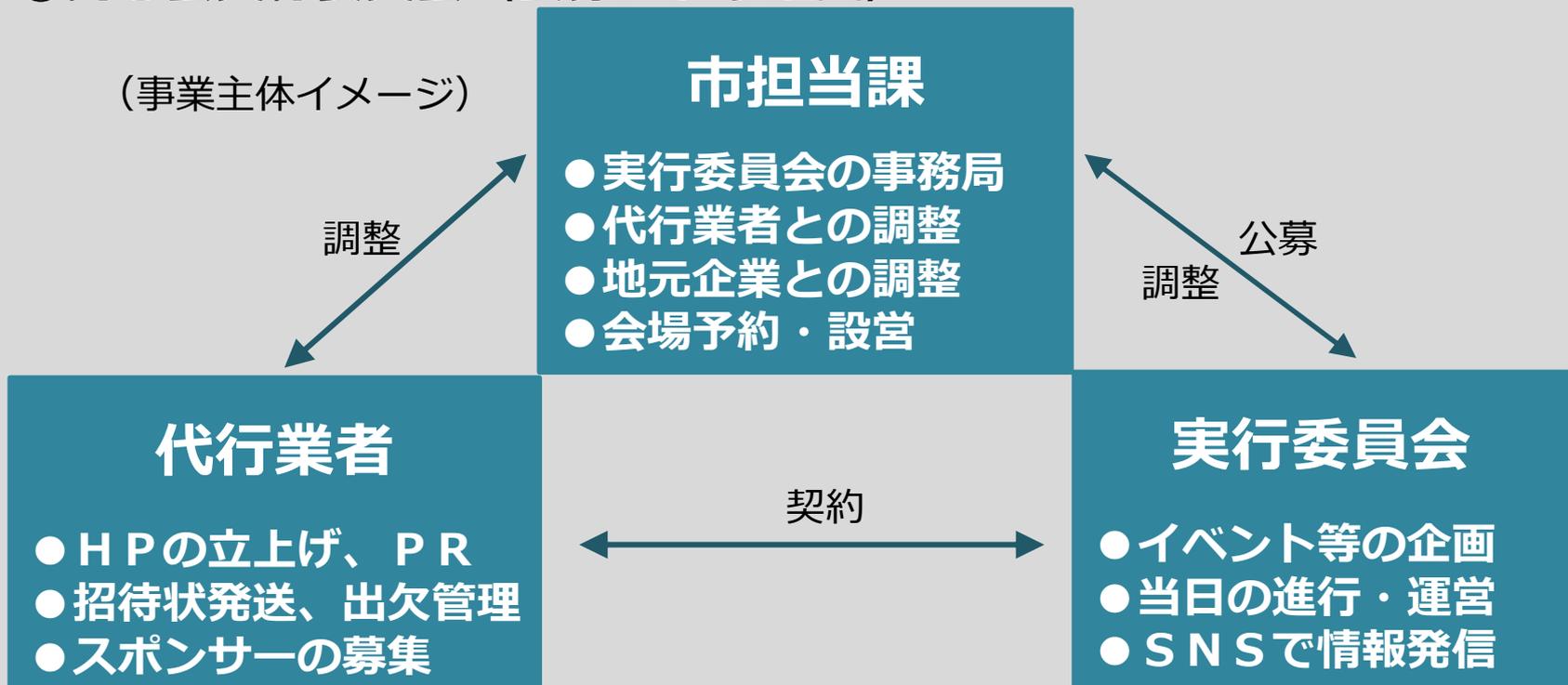
西脇市内の中学校卒業生（1986年度生まれ）を対象とし、  
合同で同窓会を実施



# 事業提案③ 30歳の同窓会開催事業

## ● 事業主体

- ①西脇市担当課（実行委員会の事務局、業者との調整等）
- ②同窓会代行業者（実行委員会と契約し、PRやDM発送を代行）
- ③同窓会実行委員会（公募により選出）



# 30歳と同窓会開催事業

## ● 同窓会の内容例 ● “普通の飲み会”で終わらないために…

- ①西脇市の魅力をスライドショー等で発信する
- ②就職・不動産情報を提供する
- ③未婚男女の出会いを促進するイベントを盛り込む
- ④参加費の優遇（西脇市にふるさと納税をすることで、参加費を優遇する制度を検討）



- これらの方針を実行委員会に伝えた上で、方針に沿ったコンテンツを企画してもらう
- 一度きりのイベントで終わることのない仕組みづくり  
（同窓会参加者の中から、次年度の実行委員希望者が出てくるのが理想）

# 事業提案③ 30歳と同窓会開催事業

## ●収入 600千円

- ①同窓会参加費 400千円  
4千円×100人（卒業生約500人中、20%の参加を想定）
- ②西脇市ふるさと同窓会応援事業補助金 200千円  
満額200千円の補助金を想定



## ●支出 600千円

- ①会場使用料、飲食料 250千円  
西脇ロイヤルホテル大宴会場の使用を想定
- ②同窓会代行業者委託料 250千円
- ③イベント経費、実行委員謝礼等 100千円

# 事業提案③ 30歳の同窓会開催事業

## ● 事業スケジュール（平成28年度実施を想定）

4月 実行委員の公募 | 市広報、HP等で情報発信

---

6月 第1回実行委員会 | 今後の日程等を確認  
実行委員会と同窓会代行業者との契約完了  
会場の予約

---

7月 代行業者によるHPの立上げ、招待状の送付

---

8月 第2回実行委員会 | イベント企画の具体化

---

9月 第3回実行委員会 | 最終調整

---

11月 同窓会開催

---

12月 次回実施方法について検討

---



# Thank you for your kind attention...

- 10代 「そだてる」

**まちの寺子屋事業**



- 20代 「つなぐ」

**しごと・若者マッチング事業**



- 30代 「よびこむ」

**30歳の同窓会開催事業**



**★これらの事業はほんの一例…**

**若者への発信を積み重ね、魅力ある西脇市に！**